

## ◆宗会議員当選

去る十一月十一日(水)午後四時半、西本願寺高岡会館礼拝堂において僧侶宗会議員選挙会が開催されました。選挙人は、十一月二十六日の届出日に立候補の富樫克哉(氷見組光照寺住職)おひとりであったため、当選人を富樫克哉さんと決定いたしました。



去る十二月十四日(土)午後四時半、西本願寺高岡会館礼拝堂において、臨時教区会が開催され、門徒宗会議員選挙が行われました。選挙人は、十一月十五日に立候補の山岡弘之(関野組光慶寺門徒)おひとりであったため、臨時教区会において、当選人を山岡弘之さんと決定いたしました。



## ◆「親鸞聖人を語る夕べ」・会館報恩講開催

去る十一月二十五日午後二時より西本願寺高岡会館において「親鸞聖人を語る夕べ」が開催された。

このつどいは各教化団体が主催となり翌日の西本願寺高岡会館報恩講のお初夜として開催されるもの。昨年までは午後七時からの開催であったが、夕刻や夜間は参拝者の来場が難しくなっていることもあり、今年度は試験的に日中の開催となったもの。今年は全体で六〇名あまりのご参拝をいただいた。



はじめに仏教讃歌「いちいちのはな」の合唱の中、各教化団体代表者による献花献灯があり、寺族青年会会員四名が伝供衆をつとめた。

その後の勤行では教務所長導師のもと、寺族青年会四名・コーラス「瑠璃の響き」とともに宗祖讃仰作法音楽法要をお勤めした。

今回の「語る夕べ」は「恵信尼文書から見る親鸞聖人と恵信尼公」をテーマとし、ご講師の巢山一哉さん(富山教区富山南組円福寺住職)から、恵信尼公が残されたお手紙である恵信尼文書(恵信尼消息)の中で記されている親鸞聖人にまつわるエピソードをもとにお話をされた。巢山さんは、恵信尼公は妻として親鸞聖人につき従うだけの従属的な存在ではなく、当時の仏教観とは大きく異なる革新的な親鸞聖人の思想を深く理解していたことが窺えるとし、また、親鸞聖人が受けた夢告の内容からすれば親鸞聖人にとって恵信尼公は自らを極楽浄土へ導く観世音菩薩の化身であり、互いを敬いあっていたような間柄であったのでは、とご講演をいただいた。

また、翌二十六日には西本願寺高岡会館報恩講が勤修され、各講社の講師を中心に九〇名近いお参りがあり、ともに親鸞聖人の遺徳を偲んだ。ご講師の山名一徳さん(伏木組龍善寺住職)のご法話では、「親鸞聖人のお言葉に学ぶ」というご講題をもとに、經典に説かれる極楽浄土の様子が、混乱する現代社会に生きる私たちにとってどんな意味があるのか、何を示そうとしているのか、親鸞聖人の浄土真宗の教えの今日的な意義と重要性などについてお話しされた。



## ★第二回高岡教区寺院女性会連盟研修会開催

高岡教区寺院女性会連盟では、年間三回の研修会を開催しています。十二月二日に三回目の研修会を行い、その様子を児玉恵子委員長よりご報告をいただきました。

久しぶりの快晴に恵まれた今回の研修会では、奈良県光明寺ご住職であり、シンガーソングライター・エッセイストとしても活躍していらつしやる三浦明利さんを講師にお迎えし、「音楽法話トーク&コンサート」と題し、仏教の心について学ばせていただきました。

なかなか音楽法話に触れる機会がありませんので、ぜひ多くの方に参加していただきたい、との思いでしたが、六十六名の方が足を運んでくださり、皆さんと拝聴することができました。参加者の方と一緒に歌を歌うことから始まり、被災地に思いを馳せる曲や、教行信証の中の言葉に曲をつけた楽曲を聴かせていただき、また、お釈迦様の時代を生きた女性の物語を、音楽にのせて届けてくださり、音楽を通して仏法が大変身近に感じた時間でありました。

どこからその声が出るのだろうかという迫力のある声と、一方で、心を温かく包むような優しい歌声の中に、仏様の心と三浦さんの思いが届いてきて、会場にいる皆さんの心に響いているように感じました。今回の研修会で、講師の三浦明利さんと出遇わせていただき、この出遇いも阿弥陀様が導いてくださったのだと、ご縁の大切さや難さを改めて感じました。

最後は皆さんと一緒に「ふるさと」を歌い、会場が一つとなり、素晴らしい研修会を終えることができました。

またぜひ拝聴したいと思うと同時に、もっと多くの方にこの音楽法話の素晴らしさが広まってほしいと思った一日でした。

寺院女性会連盟委員長 児玉恵子



## ★災害救援活動専門員会活動報告

十一月十五日（金）、石川県輪島市門前町道下地区で災害救援活動専門員会が主催となり炊出しが行われ、教区内の門信徒・僧侶十七名が参加した。

日程としては、前日に西本願寺高岡会館で炊き出しの下準備を行い、当日の朝七時半に高岡を出発し、休憩をはさみ十時頃に道下地区に到着。調理を開始し、豆ごはんと豚汁を約二百食用意した。十二時頃から大勢の方にお越しいただき、用意した食事は足りなくなる程盛況であった。

地域住民の方から、「心待ちにしていた、ありがとう。」との感謝の言葉をいただいた。

その後、片付けを終え十四時頃、高岡に向けて出発し、十六時頃に西本願寺高岡会館に到着した。

今回の炊出しでは、食材等の価格高騰や使用する資材等の調達に苦慮したもの、教区内においても被災地域という厳しい状況の中にもかかわらず多くの方から野菜やお米のご提供やご協力を賜り、当初の計画通りの規模での実施が可能となった。

災害救援活動専門員会では、教区内外でどのような支援活動が必要なのか、情報を収集し、今後も被災地への支援を継続していくとしていく。

### ◇宗派たすけあい運動募金

#### 「令和六年能登半島地震災害義援金」について

先月の教区報にてご案内及びご依頼をいたしました宗派が集めた「たすけあい運動募金」の高岡教区寺院に所属のご門徒さまへの配分について左記の通り、再度ご連絡をいたします。

各ご寺院さまは、所属のご門徒さまで、「住居建物が半壊・中規模半壊及び死亡者数（関連死含）」を調査いただき、二〇二五年一月末までに各組組長に所定の用紙にてご報告ください。

なお、宗派の「たすけあい運動募金」の配分については、①全壊・大規模半壊十五万円、②半壊・中規模半壊五万円、③死亡者一名につき五



万円と試算しておるとの連絡がありますが、「たすけあい運動募金」の収納状況により変動する可能性があるとのこと。

また、本年八月末までに組長を通じて調査いただきました「ご門徒様の住居建物被害が全壊・大規模半壊」の件数について、新たに判明したご門徒さまがありましたら併せてご報告をお願いいたします。(報告済みの件数は除いてください。)

## ◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

### 身近な差別・偏見を考える

#### アンコンシヤスバイアスとマイクロアグレッションとは？

アンコンシヤスバイアスとは無意識のうちの・自覚のない偏見・思い込みのことです。マイクロアグレッションとは直訳すればマイクロ(ごく小さな)アグレッション(攻撃性)であり、個人間でのやり取りの中で、意図的であるか否かに関係なく、差別・偏見による攻撃性を意味します。広義で言えば意図して自覚的に行われる典型的な差別行為もマイクロアグレッションに含まれますが、近年注目されているのはマイクロアグレッションの中でも、無自覚の偏見や思い込み(アンコンシヤスバイアス)によって、悪意なく意図せずに日常的に繰り返される、他者への心無い言動です。具体的には、無自覚のうちに自分とは異なる人種・出自・属性の人に対して向けてしまう無礼な態度や相手の価値や背景を貶めるような言動、相手の感情や考えを否定することが挙げられます。

その典型としては、例えば異なる人種や外国人と思われる方に対して「日本語が上手ですね」という誉め言葉も、外国人は日本語が下手という前提や思い込みであるアンコンシヤスバイアスによるマイクロアグレッションです。「女性なのに〇〇ができてすごい」「女性なのに社長」「男なのに家事をしてえらい」という男らしさ・女らしさという考えに基づいた発言もそれらに該当します。

今年一月一日に発生した能登半島地震では高岡教区内でも多くの被害を出し、一年が経過しようとしている現在でも、家屋や本堂の再建問題や引っ越しを余儀なくされ、地域が空洞化していくなど、多くの問題が積み残されています。しかし、時間が経過していく中で「もう落ち着かれましたよ」「あの時は大変でしたね」「もう大丈夫なんですよ?」といったおそらくは気遣いのつもりで発せられるそれらの言葉が、小さな痛みとなって無視できないほどに積み重って負担となっている、とい

う話も被災された方からお聞きしたことがあります。

注目すべきは言う方は悪意なく、むしろ気遣いやほめ言葉のつもりだとしても、受け取る側にしてみれば、偏見をぶつけられているに過ぎないということ。これらは一つ一つは小さいようでも言われる続ける方の心に重くのしかかります。

これらの差別や偏見による被害は「気にしすぎ、気にしなければいい」「本人の心の持ちようの問題」という受け取られ方をすることがありますが、そのように相手の感情や考えや置かれている状況を軽視し、否定してしまうのも一種のマイクロアグレッションと指摘されています。

差別や偏見は自分とは縁遠い無関係な場所で起こっている問題ではなく、私たちの日常生活に存在し、深く根差している問題です。

こういった偏見や思い込みは本人にとってみれば、それが当然の常識や道徳と思っているために、指摘されない限り気付くことは難しいでしょう。自分でも自覚しないまま他者を傷付け、その関係性や信頼を損なってしまうことは憂慮すべきことです。また、マイクロアグレッションは個人間の問題に留まらず、そのような言動が横行することによって社会的な偏見が増大し、心理的・実態的な差別がより具体化・強化されていくことが指摘されています。

知識や理解の不足が偏見や思い込みを生み出す要因となります。だからこそ差別問題への学びは重要です。偏見や思い込みは完全に消し去ることはできなくとも、学びによって少なくとも自分の言動やもの見方は変えていくことはできるはず。これらの偏見それに基づく差別は、一般的な社会問題というだけでなく、仏教徒としても大きな課題です。

お釈迦さまは、当時の厳格なカースト身分社会の中で、それまでの出身身分に関係なく、互いに「友よ!」と呼びかけ尊重し合うことを説かれています。阿弥陀如来が目指されたあらゆる苦しみの無い極楽世界は、互いを敬い尊重し、相容れないはずの者までもが調和する世界でした。その願いと教えをいただく私たちにとって自分自身の中の差別や偏見を問うていくこと・改めていこうとすることは、非常に大切な課題ではないでしょうか。

互いを敬い、ともにいのちかがやく世界をめざして、私たちの日常の中にあるこれらの問題に取り組んで参りましょう。

【高岡教区教務所主幹 岡西好持】

◇これからの日程（12/27～1/30）◇

12月	教区・財団行事	教化団体・組行事
27	午前中教務所事務終了 (1月8日(水) 事務開始)	
1月		
7		教学研究室会議
8	教務所仕事始め	
14	常例法座	
18		中仏つどい
20		少年連盟指導者研修会
21	聖典セミナー 教区新年会	コーラス (午前)
23		仏婦執行部会 ビハーラ連絡協議会 (Web)
24		布教団連合総会
25		まことの保育研修会
28		仏婦新年会
29		まことの保育打合せ (Web)
30		仏婦広報委員会
12月27日の午後より、1月8日まで、 教務所事務休業いたします。		1月14日～16日まで、 親鸞聖人御正忌報恩講 のため教務所事務を休 業いたします。 (常例法座は開催)

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送 (KNB) ・ 73.8kHz.

□第2・4日曜日 (富山・高岡制作) 午前6:00～6:10

●1月12日 (日)

富山教区布教使 (未定)

(富山教区)

●1月26日 (日)

富山教区布教使 (未定)

(富山教区)

※高岡教区及び富山教区が主催し、北日本放送 (KNB) にて毎週日曜日午前6時から放送しております「西本願寺の時間」は、放送を継続しております。

また、西本願寺では、動画配信サイトを設置し法話等を配信しております。ご視聴ください。

<https://broadcast.hongwanji.or.jp/>



☆お知らせ☆

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱 (170袋) 10,000円

・1組 (10袋) 600円

お申込み先は…高岡市東上関446高岡教務所内  
(寺族青年会担当)

Tel. (050) 5587-7708(代表)

メール hourin18@gmail.com

※2025年2月より申込代表電話番号を変更いたします。

【西本願寺高岡会館1月の常例法座】

ご講師： 小見山恵佑 氏

(若神組常称寺)

ご講題：『 未 定 』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。